

斑点米カメムシに注意！

水稻の籾を吸汁する斑点米カメムシが平年と比べて多い状況です。一般に見られるホソハリカメムシおよびクモヘリカメムシに加え、県北東部ではイネカメムシが確認されています。【病害虫発生予察注意報第5号を発売(8月22日)】

□ すでに出穂しているほ場や今後出穂するほ場では適切な防除に努めましょう。



ホソハリカメムシ



クモヘリカメムシ



イネカメムシ

★防除上の注意事項

- 出穂直前の水田周辺の除草は行わない。
- 農薬は穂揃期とその7～10日後の2回散布を基本とする
- イネカメムシが見られる地域では出穂直前に1回目を散布する

【防除薬剤】

キラップフロアブル	1,000～2,000倍/10a	収穫14日前まで
キラップジョーカーフロアブル	1,000倍/10a	収穫14日前まで
トレボン乳剤	2,000倍/10a	収穫14日前まで
スタークル/アルバリン顆粒水溶剤	2,000倍/10a	収穫7日前まで
ダントツ水溶剤	4,000倍/10a	収穫7日前まで

※使用薬剤の選択は、地域の防除暦を参考にする。

大分県 農林水産部 水田畑地化・集落営農課
地域農業振興課
農林水産研究指導センター
農業研究部 病害虫対策チーム

病害虫対策チーム
ホームページ

